

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 3 月 8 日作成)

小委員会名	建築教育制度小委員会	主 査 名：吉田 勝行 就任年月：2003 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会	委員長名：西谷 章 主 査 名：
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築教育制度と建築技術者の資格制度に関する調査研究を行う。</li> <li>・ 建築教育制度に関わるポータルサイト <a href="http://www-dg.setc.wani.osaka-u.ac.jp/aij/shikaku/linksyu/aij.htm">http://www-dg.setc.wani.osaka-u.ac.jp/aij/shikaku/linksyu/aij.htm</a> を継続維持管理し、建築教育制度に興味を持つ研究者、実務家に便宜供与を行う。</li> <li>・ 建築教育制度と建築技術者の資格制度に関する調査研究成果を論文の形に纏める為の支援を計る。</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	吉田勝行(大阪大学)、上利益弘(アガリ・アソシエイツ)、阿部浩和(大阪大学)、稲葉武司(建築と子供たちネットワーク)、加藤道夫(東京大学)、河本順子(ARC)、斎藤公男(日本大学)、櫻井一弥(東北大学)、島田良一(東京都立大学)、白崎敬治(㈱アーキドリーム)、瀬口哲夫(名古屋市立大学大学院)、高橋純一(小山工業高等専門学校)、中島正愛(京都大学)、野崎勉(愛知工業専門学校)、山名善之(東京理科大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名：教育と資格制度ワーキング 目 的：アンケート調査案の企画と実施、および収集結果の下整理を担当すると共に、最終報告書の編集を担当する。	
2005 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://www-dg.setc.wani.osaka-u.ac.jp/aij/shikaku/linksyu/aij.htm">http://www-dg.setc.wani.osaka-u.ac.jp/aij/shikaku/linksyu/aij.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 7 回建築教育シンポジウム 参加者数 28 名 (第 7 回建築教育シンポジウム論文集刊行)
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 第 7 回建築教育シンポジウムにおいて、建築技術倫理教育展開への展望を主題とした講演会を開催したこと、及び第 7 回建築教育シンポジウム論文集に掲載の投稿論文 12 編中 3 編は本小委員会関連の主題であることが即ち本小委員会の意見表明である。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建築教育制度と建築技術者の資格制度に関するアンケート調査は、データを集積中であり、達成度は 50% である。 2. ポータルサイトの維持管理は順調に実施出来ており、達成度 100% である。 3. 建築教育制度と建築技術者の資格制度に関わる調査研究成果の論文化支援については、第 7 回建築教育シンポジウムが順調に開催され、論文数が対前年度並みとなったこと等より達成度 80% である。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員が全国に散在するため、一堂に会して討論する機会が乏しい。 2. 委員の所属が幅広く、教育制度に関する議論の焦点が絞り込みにくい。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。